

県における令和 7 年度の自殺対策関連の取組実績

(1) ネットワークの構築

- ① 岩手県自殺対策推進協議会による官民一体となった自殺対策の推進【本庁】 [令和 7 年 7 月 28 日、盛岡市]
- ② 知事を本部長とし、各部局長によって構成する「岩手県自殺総合対策本部」による全庁的、部局横断的な県の取組の推進【本庁】
[令和 7 年 7 月 14 日]
- ③ 圏域ごとに地域自殺対策推進協議会、自殺対策実務者のネットワーク連絡会を開催し、関係機関・団体と連携した取組を推進【保健所】

(2)

ア 普及啓発

- ① 自殺防止月間等におけるマスメディアによる広報の実施【本庁】

「こころに寄り添い いのちを守る いわて」月間（9 月：岩手県自殺防止月間、3 月：岩手県自殺対策強化月間）を中心に、テレビ・ラジオ、新聞等による県民向けの集中的な広報による普及啓発を実施

【R7実績】

- テレビ・ラジオ CM
(テレビ:年間 200 本、ラジオ:年間 100 本)
- 「いわて！わんこ広報室」
美容業生活衛生同業組合のゲートキーパー養成の取組紹介(9月)
- 新聞広告の掲載
[令和7年9月1日、9月19日、令和8年3月3日:岩手日報朝刊]
- 自殺防止対策特設 WEB サイト「こころに寄り添い いのちを守る いわて」の運用
相談窓口の周知、ゲートキーパー養成動画、セルフケア動画を公開
- X (旧 Twitter)、Instagram への広告掲載
[令和7年4月～令和8年3月]

【特設WEBサイト】



誰かに
相談したい方



心のセルフケアを
したい方



周りの人を
守りたい方



悩みごととは一人で抱えずに相談してください

- ② 県職員向け普及啓発【本庁】

・ 「こころの健康啓発動画」の庁内共聴放送での放映 [令和 8 年 3 月 11 日、19 日]

- ③ 自殺対策の担い手育成を目的としたセミナー等の開催

・ メンタルヘルス推進セミナー【本庁】

[1 回目: 令和 7 年 7 月 25 日 197 人、2 回目: 令和 7 年 9 月 25 日 215 人、3 回目: 令和 7 年 11 月 27 日 210 人] ※すべてオンライン

- ④ イベント、事業所訪問等における普及啓発 (パンフレット配布等)、こころの健康づくりや自殺予防対策に関する講演会の実施【保健所】

- ⑤ 自殺対策に関する特設展示の実施【本庁】 [令和 8 年 3 月 2 日～3 月 31 日、県庁県民室]

⑥ 若年層向け普及啓発

- ・ 若年層向け「こころの健康啓発動画」（３種類・令和６年１２月作成）の特設ＷＥＢサイトでの公開【本庁】
- ・ 高校や大学等への相談窓口チラシ等配布【保健所】
- ・ SNS 相談専用窓口カードの配布【本庁】

⑦ いわてアスリートクラブとの連携協定に基づくいわてグルージャ盛岡ホームゲームでの自殺予防啓発活動【本庁】 [令和７年９月４日、盛岡市]



「こころの健康啓発動画」

イ 人材養成

① 自殺予防の担い手人材の養成

- ・ ゲートキーパーの養成研修、傾聴ボランティアのスキルアップ研修等の実施【保健所】
- ・ 自殺対策に携わる支援関係者を対象とした包括的な支援の仕組みの構築に係る研修の実施【精神保健福祉センター】
- ・ メンタルヘルス推進セミナーの実施【本庁】（再掲）

② 地域ケア検討会

- ・ 事例を通し、支援担当者の相談技術等の向上、地域のネットワークの強化を図るための研修を実施【精神保健福祉センター】

【参考】R7実績

- ・ 自殺予防の担い手研修の開催:134 回開催、受講者延べ 2,224 人【保健所】
- ・ 自殺対策企画指導者養成研修:1回開催、受講者 56 人【精神保健福祉センター】
- ・ 地域ケア検討会:14 回開催、参加者延べ 388 人【精神保健福祉センター】

(3) 二次予防（ハイリスク者へのアプローチ）

ア 相談支援

○ 相談窓口を設置し、対面相談及び電話相談等を実施

- ・ 「こころの相談電話」での相談受付【精神保健福祉センター】

【参考】R7相談実績（県精神保健福祉センター）

	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
電話相談件数	7,130 件	6,802 件	6,493 件
自殺関連相談件数（電話＋来所）	581 件	373 件	349 件

【補足】電話相談体制強化の状況

- 相談体制の充実を図るため、令和２年度から電話相談員を増員
- 令和３年２月から全国共通「こころの健康相談統一ダイヤル」を活用することにより、平日の受付時間を 21 時から 22 時まで延長
- 令和３年度から「こころの相談電話」の回線を増設

- ・ こころの健康相談の実施【保健所】
- ・ SNS 等相談を実施する国の補助事業実施団体と自治体連携協定を締結し、本県の相談者に対応【本庁、精神保健福祉センター】

イ 自殺未遂者支援

- 医療機関と地域の保健福祉関係者によるネットワーク体制の構築
 - ・ 二戸地域自殺未遂者支援事業の実施【精神保健福祉センター】
 - ・ 圏域での自殺未遂者支援検討会、ケア会議、研修会等の実施【保健所、精神保健福祉センター】

【参考】R7実績

- ・ 自殺未遂者支援事業の実施:37回、受講者延べ507人【精神保健センター、保健所】

(4) 三次予防（自死遺族へのアプローチ）

- ① 自死遺族交流会の開催、自死遺族に対するリーフレットの配布【保健所】
- ② 公開講座、自死遺族支援実務者連絡会の開催、自助グループへの運営支援【精神保健福祉センター】

【参考】R7実績

- ・ 自死遺族支援実務者連絡会:31人〔令和7年11月21日、盛岡市〕【精神保健福祉センター】
- ・ 公開講座:32人〔令和7年1月17日、一関市〕【精神保健福祉センター】

(5) 精神疾患へのアプローチ

- ① 保健医療関係者を対象に、うつ病等への理解や精神科医との連携の促進を目的とした専門的な研修の実施【保健所】
- ② 多様な精神疾患に対応するため、保健医療関係者を対象とした専門研修を実施【精神保健福祉センター、保健所】

【参考】R7実績

- ・ 保健医療等関係者を対象とした研修会の実施:37回開催、受講者延べ1,561人【精神保健センター、保健所】

(6) 職域へのアプローチ

- ① 事業所訪問、出前講座の実施
働き盛り世代の自殺予防対策として、職場等でのメンタルヘルスの重要性についての啓発や相談窓口の周知等を実施【保健所】

【参考】R7実績

- ・ 事業所訪問:58回【保健所】
- ・ 出前講座:81回【保健所】
- ・ 関係会議・研修会等での周知啓発:34回【本庁、保健所】

- ② メンタルヘルス推進セミナーの実施【本庁】（再掲）

被災地におけるリスクを抱えた住民に対する支援

- ① 岩手県こころのケアセンター等と連携し、被災者への相談支援や見守り支援等を継続して実施

【参考】岩手県こころのケアセンター相談件数

	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
相談件数	8,084 件	11,390 件	11,674 件

- ② 東日本大震災津波による被災者の心身のケアや生活再建先におけるコミュニティ形成支援等

相談支援体制の充実

- ① 悩みを抱えた方を確実に適切な相談支援につなげるため、「相談窓口一覧」（県ホームページで公開）、自殺予防特設 WEB サイト、「相談窓口情報」（各種相談機関へ配布）の更新・周知【本庁】

【相談窓口一覧】

相談窓口一覧 ～1人で悩むより、まず相談を～



もしあなたが悩みを抱えていたら、ぜひ相談してください。
大切な人が悩みを抱えていることに気づいたら、声をかけてみてください。
そして、その人が悩みを話してくれたら、話をそらしたり、「そんなことで」と否定したり、
安易に励ましたりせず、じっくりと話を聴いて、相談窓口を紹介してあげてください。
その後も、「何かあったらまた話して」と寄り添い、温かく見守ってあげてください。



岩手県保健福祉部障がい保健福祉課作成(令和7年10月1日現在)

【24時間ダイヤル】

相談内容	相談窓口	電話番号	受付時間
精神科救急受診	岩手県精神科救急情報センター	019-624-6791	

- ② 消費生活相談員による消費者トラブルへの相談対応、消費生活情報の提供、消費者教育の推進【本庁】
- ③ 女性専用相談窓口「いわて女性のスペース・ミモザ」の設置、犯罪被害者等支援総合案内における相談窓口の教示、性犯罪・性被害者支援「はまなすサポート」における相談対応による犯罪被害者等支援【本庁】
- ④ 24時間子供SOSダイヤルによる電話相談の受付【本庁】